

姉妹都市提携50周年記念
令和7年度サンタモニカ市親善訪問団派遣事業
実施報告書

令和7年10月22日～26日

～目次～

1	事業概要	・・・ 1
2	訪問者	・・・ 2
3	訪問行程	・・・ 2～3
4	訪問の様子	・・・ 3～10
5	成果報告	・・・ 10～12

1 事業概要

(1) 目的

姉妹都市であるアメリカ・サンタモニカ市へ親善訪問団を派遣することで、両市民の友好親善を図り、国際理解を深めることを目的とする。

また、2025 年は姉妹都市提携を締結してから 50 周年であるため、記念事業を実施することにより、これまでの両市の交流を振り返るとともに、これからの交流の機運を高めるきっかけとする。

(2) アメリカ・サンタモニカ市について

人 口：約 9 万人

面 積：約 2 1 km²

市 長：Lana Negrete (ラナ ネグレット)

概 要：アメリカの西海岸に位置し、ロサンゼルス市に隣接する都市。地中海気候で 1 年を通じて温暖で、雨は少なめであるため過ごしやすい。

太平洋に沿って続く砂浜のサンタモニカビーチには、レストランや遊園地などが並び、多くの観光客が訪れる人気スポットである。ビーチにある「サンタモニカ・ピア」は西海岸で最も古いレジャー用栈橋で、そこにかかるアーチはまちのシンボルの存在であり、古くよりサンタモニカ市民から愛されている。

提 携 日：1 9 7 5（昭和 5 0）年 7 月 2 1 日

市の位置：



2 訪問者

【富士宮市】

須藤 富士宮市長、佐野 富士宮市議会議員、市川 市民交流課長
 渡邊 秘書課職員、佐山 市議会事務局職員、手塚 市民交流課職員
 友野 市民交流課職員
 馬飼野 第36代ミス富士山グランプリ、稲葉 第36代ミス富士山

【富士宮国際姉妹都市協会】

浅井 会長、井藁 副会長、高岡 常任理事、植松 常任理事、小見山 常任理事
 望月 顧問、望月 顧問

【公募による参加市民】9人

計25人

3 訪問行程

10/22 (水)	10:00	富士宮市役所 発 (成田空港へ)
	14:15	成田空港 着 → 出国手続き
	17:20	ロサンゼルス空港へ
	～～～日付変更線～～～	
	11:30	ロサンゼルス空港 着
	12:30	入国手続き 終了 → ロサンゼルス空港 発
	12:45～13:30	昼食 (Daily Grill)
	14:00～14:30	マリーナ・デル・レイ見学
	15:00～15:45	サンタモニカ姉妹都市協会主催 歓迎式典 (サンタモニカ歴史博物館)
	16:00～17:00	ホテル (ハンプトンイン) チェックイン、休憩
	18:00～20:30	サンタモニカ姉妹都市協会主催 歓迎夕食会 (カーサ・サンチェス)
	21:00	ハンプトンイン 着 【1日目終了】
10/23 (木)	9:15	ハンプトンイン 発 → サンタモニカ高校へ
	9:30～12:00	サンタモニカ高校訪問、昼食
	13:00～14:15	Snap Inc.視察
	15:00～16:00	PR活動 (サードストリートプロムナード)
	17:00～18:00	サンタモニカ市長表敬訪問
	19:00～21:15	50周年記念親善レセプション (シャッターズオンザビーチ)
	21:45	ハンプトンイン 着 【2日目終了】

10/24 (金)	9 : 45	ハンプトンイン 発 → SGI-USA へ
	10 : 00～11 : 00	SGI-USA 訪問
	11 : 15～12 : 15	サンタモニカピア見学
	12 : 15～13 : 15	昼食 (ババガンプ) → ロサンゼルス市へ
	15 : 15～16 : 15	チャイニーズシアター見学
	16 : 45～17 : 15	リトルトーキョー見学
	17 : 20	ミヤコホテル 着 → チェックイン
	18 : 00～19 : 30	夕食 (ミヤコホテル内レストラン「多聞」)
	19 : 30	【3日目終了】
10/25 (土)	9 : 00	ミヤコホテル 発 → ロサンゼルス空港へ
	10 : 00	ロサンゼルス空港 着 → 出国手続き
	14 : 00	成田空港へ 【4日目終了】
	～～～日付変更線～～～	
10/26 (日)	18 : 15	成田空港 着 → 入国手続き
	19 : 30	成田空港 発 → 富士宮市役所へ
	23 : 00	富士宮市役所 着 → 解散 【5日目終了】

4 訪問の様子

【1日目】

- サンタモニカ姉妹都市協会主催 歓迎式典



サンタモニカ歴史博物館にて

● サンタモニカ姉妹都市協会主催 歓迎夕食会



挨拶をする須藤市長

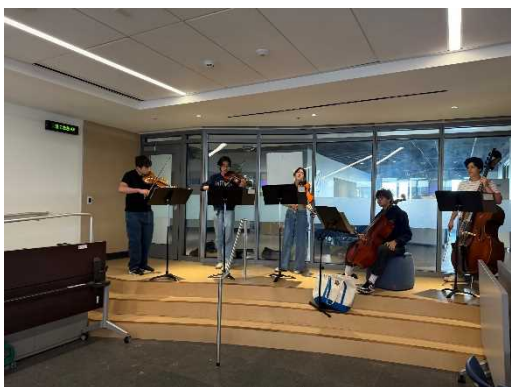


挨拶をするサンタモニカ姉妹都市協会ジェフ会長

【2日目】

● サンタモニカ高校訪問

- ・ 歓迎式（代表挨拶、記念品交換）
- ・ 記念撮影（サンタモニカ高校製作のキッズゲルニカ前にて）
- ・ 学校見学
- ・ 授業見学（日本語クラス1）
- ・ 昼食



生徒による演奏で歓迎を受ける



マラエ校長に記念品をお渡しする佐野議長



アントニオ教育長より記念品をいただく須藤市長と浅井会長





キッズゲルニカ前で記念撮影



日本語クラスの授業を見学

● Snap Inc.視察



Snap Inc.のエントランス



エンジニアによる案内

● PR 活動

場 所：サードストリートプロムナード



須藤市長、佐野議長が沿道にて観光パンフレット等を配布



第36代ミス富士山の2人によるPR

● サンタモニカ市長表敬訪問



Fujinomiya Douri の看板前で記念撮影



覚書にサインをする両会長



50周年を記念した覚書にサインをする両市長



両市長、両会長及びサンタモニカ市議会議員による記念撮影



全員での記念撮影

● 50周年記念親善レセプション

場 所：シャッターズオンザビーチ

- ・ 国歌斉唱（サンタモニカ高校生によるバイオリン演奏）
- ・ 開会あいさつ（サンタモニカ姉妹都市協会 ジェフ・ジャロウ会長）
- ・ 文化的プログラム（サンタモニカ姉妹都市協会役員）
- ・ 50周年記念挨拶

サンタモニカ姉妹都市協会 ジェフ・ジャロウ 会長

富士宮国際姉妹都市協会 浅井 大志 会長

富士宮市議会 佐野 和彦 議長

サンタモニカ市 ラナ・ネグレト 市長

富士宮市 須藤 秀忠 市長

- ・ 歓談

- ・ 表彰（サンタモニカ姉妹都市協会 モニカ・ホワイ特副会長による）

富士宮市 須藤 秀忠 市長

サンタモニカ姉妹都市協会 ジェフ・ジャロウ 会長

デボラ・デイリー 副会長

サンタモニカ高校 エミリー・カリヤ 先生

シェリル・ネズビット 先生

- ・ 閉会あいさつ（サンタモニカ姉妹都市協会 ジェフ・ジャロウ会長）



サンタモニカ高校生による国歌演奏



記念品を交換する両会長



挨拶をする佐野議長



記念品をお渡しする須藤市長



ミス富士山による記念品配布

【3日目】

● SGI 訪問



盛大な歓迎を受ける



挨拶をするモニカ・オオウチ氏



挨拶をする須藤市長

● チャイニーズシアター及びリトルトーキョー見学



現地ガイドの説明を受ける訪問団一行



リトルトーキョーでの記念撮影

5 成果報告

本年、サンタモニカ市との姉妹都市提携が50周年を迎えたことを記念し、25名の親善訪問団を派遣した。

1日目はサンタモニカ市に到着してすぐにサンタモニカ姉妹都市協会による歓迎式典に出席した。サンタモニカ歴史博物館にて行われ、館内の案内を受けた。市制150周年を迎えたサンタモニカ市の歴史を感じるとともに、サンタモニカ市の皆様からの温かい歓迎をいただくことができた。その後、サンタモニカ姉妹都市協会主催による歓迎夕食会に出席した。冒頭、サンタモニカ姉妹都市協会のジェフ・ジャロウ会長より、「4月に富士宮市で実施した50周年記念事業に続いて、サンタモニカ市で50周年をお祝いできることは大変意味深いものである。富士宮市の皆様との交流を楽しみたい。」との挨拶があった。会場であるカーサ・サンチェスというレストランは、メキシコの民俗音楽であるマリアッチを楽しむことができ、美味しい食事と音楽とともに、サンタモニカ市の皆様との交流を深めることができた。

2日目は午前中にサンタモニカ高校を訪問した。サンタモニカ高校は、両市のメイン事業である高校生交換学生事業に多くの生徒が参加、また2年に1度訪問団が当市に来訪するなど、両市の交流にご尽力いただいている。サンタモニカ・マリブ統一学区教育長のアントニオ・シェルトン氏やサンタモニカ高校マラエ・クルース校長からは、「富士宮市との交流は、広い見識を身に付け、人間形成に良い影響をもたらすことから、当学校の生徒にとって非常に重要であると考えている。今後とも様々な交流を推進していきたい。」とのお言葉をいただいた。会議室での歓迎会終了後はサンタモニカ高校のキャンパスや日本語クラスの授業を見学した。キャンパスは非常に広大で設備が充実しており、生徒が伸び伸びと学習できる環境であると感じた。日本語クラスの授業では、家族を紹介するというテーマで日本語を学んでいた。教室には日本文化やひらがな・カタカナの掲示物が多くあり、遠く離れたアメリカの地でこのように日本について学習されていることを嬉しく感じた。

当市のグローバル人材育成に重要であるサンタモニカ高校に訪問し、交流に対するお互いの認識を確認することができ非常に良い機会になった。

2日目の午後は、はじめに企業視察を行った。**Snapchat** という全世界で多くの人に利用されているアプリケーションを開発した「**Snap Inc.**」という企業を訪問し、企業理念や創意工夫、作業工程などを視察することができた。訪問団員には企業に勤めている方が多くおり、海外の企業を視察することができ良い機会となったという感想が多くあった。その後はサードストリートプロムナードという多くのサンタモニカ市民や観光客で賑わう商店街にて当市のPR活動を行った。須藤市長、佐野議長、ミス富士山を中心に観光パンフレットやノベルティグッズを配布した。多くの方に富士宮市について知っていただくことができ、将来の観光誘致につながるものであったと感じる。PR活動終了後、サンタモニカ市役所にてラナ・ネグレット市長と面会した。ラナ市長からは、「両市の交流は50年という長い年月をかけて深められ、お互いのコミュニティの発展に寄与してきた。今後も長きに渡り交流を推進し、両市の友情や相互理解を育み、世界平和につなげていきたい。」とのお言葉をいただいた。また、50周年を記念した覚書に両市長並びに両会長が署名し、ますます交流を深めていくことを約束した。サンタモニカ市役所訪問後は、50周年記念親善レセプションが実施された。当市訪問団25人に加え、サンタモニカ市からは35人の出席があり、多くの方とともに50周年をお祝いすることができた。ラナ・ネグレット市長やジェフ・ジャロウ会長等のサンタモニカ市の皆様からは、「富士宮市との交流は非常に重要であり、両市の人材育成に寄与するものである。交流が両市の発展につながり、ひいては世界平和につながられるといい。」という旨のお言葉を多くいただいた。当市もサンタモニカ市と同じ考えであり、50周年をきっかけに共通認識を持つことができたことは大きな成果である。また、ミス富士山による記念品配布により、会場にいるサンタモニカ市関係者に改めて富士宮市の魅力を発信することができた。

3日目の午前には**SGI-USA**を訪問した。**SGI-USA**は両市が交流を開始するきっかけであり、50周年を迎えた報告に赴いた。**SGI-USA**では盛大な歓迎を受け、双方の代表による挨拶や記念品交換などを行った。**SGI-USA**の代表として出席していたモニカ・オオウチ氏、これまで富士宮市との調整役を担ってきたイアン・マキルレイス氏からは、今後とも両市の姉妹都市交流に惜しめない協力をする旨のお言葉をいただいた。

その後はロサンゼルス市に移動し、チャイニーズシアターとリトルトーキョーの2か所を見学した。観光客で賑わうロサンゼルス市において、その魅力を発見することができた。また、リトルトーキョーにおいて日本人の先人がいかにしてアメリカで過ごしてきたのかなど、日本とアメリカのつながりを学ぶことができ、アメリカをこれまで以上に身近に感じることができた。4、5日目はロサンゼルス空港から成田空港へと帰国の途についた。

今回の訪問団事業において、サンタモニカ市がこれまで以上に私たち富士宮市訪問団を歓迎してくれたことを肌で感じた。それは、50年という歴史において両市が友好関係を深めてきた証拠であり、この関係は非常に重要である。サンタモニカ市が準備してくださっ

た様々な交流を通じて、両市がこれまで歩んできた歴史を振り返るとともに、今後ますます交流を推進していくことを確かめ合うことができた。

グローバル化が急速に進展する現代社会においては、国内外問わず海外の方と関わる機会が増加しているため、異文化を理解し尊重する姿勢が重要となってくる。グローバル化は今後ますます進展することが予想されるため、将来を担う市民や学生にとって海外の方と直接関わる機会や海外の文化を経験する機会は貴重である。そのような中、サンタモニカ市との様々な交流は、富士宮市の多くの方に国際交流の機会を提供することにつながる。そして、50年という歴史を持つ姉妹都市サンタモニカ市だからこそ、より充実した交流を安全安心に実施することが可能である。

4月のサンタモニカ市訪問団受入から始まり、今回の富士宮市訪問団派遣にかけて行った姉妹都市提携50周年記念事業により、両市の友好関係はますます深く強固なものとなった。今後とも、サンタモニカ市との交流を推進する富士宮国際姉妹都市協会とともに、両市民のためにサンタモニカ市との交流を更に推進していきたい。